

6階建てオフィスビルが起工 佐世保市のラッキーポウル跡地

施工は株池田工業「身の引き締まる想い。知恵と技術を結集」

池田代表取締役



川添代表取締役社長



先般、佐世保市常盤町のラッキーポウル跡地に、ラッキー自動車計画するオフィスビル「LUCROSS BLDG（ラクロスビルディング）」の新築工事に伴い安全祈願祭が執り行われた。建物の規模は、地上6階建て、延べ床5836・79平方メートル。事務室総面積は4412・63平方メートルで内柱がなく、足元から天井まで断熱性の高いLow Eペアガラス面で覆った外観と「L」を表現

した外壁デザインが特徴的で、エレベーターと各階に24時間セキュリティシステムを備える。なお、名称の「ラクロス」は、ラッキーとクロスを融合した造語。総事業費は約13億円。

施工は株池田工業、施工管理は株オール・アイ・エーが担当する。なお、祈願祭当日には、ラッキー自動車株の川添忠彦代表取締役社長、株オール・アイ・エーの岩永裕人代表取締役、株池田工業の池田晃寿代表取締役、および関係者ならびに、長崎県知事の代理として廣田義美産業労働部長、朝長則男佐世保市長、崎山信幸市議会議員、親和銀行の吉澤俊介頭取などが足を運び、神事式が行われた。



杭打之儀にて

の岩永代表取締役が鎌を、杭打には、株池田工業の池田代表取締役が鋤、支え役に桑原三治現場所長がそれぞれ立ち、気合のこもった所作を見せた。式典後に挨拶した川添代表取締役社長は、「この計画を立ち上げたのは佐世保市より、雇用創出に向けて県外の企業誘致を図っているものの、受け皿となるオフィスビルが不足している」という相談を受けたのが始まりでした。市と共同して協議を重ねてきたが、

修祓から始まり、締め神酒穿戴までの神事式が粛々と進む中、地鎮の儀では、苅り初にラッキー自動車株の川添代表取締役社長が鎌を手に、穿ち初では株オール・アイ・エー



池田代表取締役

最終的に雇用創出はもとより、市内中心地域の活性化にも繋がり、テナント需要もあると判断して決断に至りました。オープン時にはテナントが全部埋まっているよう尽力していくが、工事中にはくれぐれも事故のないよう池田さんにお願いします」と述べた。式典の締めにした主催者の池田代表取締役は、「本日ここに、こうして着工の日を迎えたこ

とに大きな喜びを覚えるとともに、身の引き締まる想いです。我が社の持てる知恵と技術を余すことなく結集し、素晴らしい建物となることを誓います。この現場周辺を見て頂いてもわかるように、まさに佐世保の中心市街地であり、メインストリートにも面しています。歩行者の皆様をはじめ交通災害が起きないよう細心の注意を払ってまいります」と、

Topics

株池田工業（執行役員建設事業部部長）桑原三治現場所長のコメント



「池田社長もあいさつの中で話していたように、人通りはもとより交通量も多いので、何は無くとも“安全第一”を念頭に置いて工事を進めていくということに尽きます。完成の日まで気を緩めることなく、常に緊張感を保って施工にあたり、完成した暁にはビルの中に入る人達が喜んでくれるよう、施工管理の株オール・アイ・エーと力を合わせていきたい」と、意気込みを語った。

表情を引き締めた。【※】なお、川添代表取締役社長によると、リーシングは佐世保市からの誘致企業や県外企業への提案等が

あり、すでに大手企業数社からの問い合わせもあるという。建築進捗もよく、具現化していくものと期待を寄せている。